

令和5年度 学校評価 自己評価書 (2学期)

1 学校の重点目標

- 「自尊感情」「自己有用感」の育成～どの子供も心から「学校が楽しい」と思える中山小を目指して～
- 子供たちの夢の実現につながる確かな学力の定着～ラスト10分のチャレンジ～
- 体力の向上・健康的な生活習慣づくりの指導の充実～チャレンジかごしまへの取組・むし歯治療率85%～

2 課題と解決策 (評価の基準 4:達成率80%以上 3:60～79% 2:40～59% 1:39%以下)

| 子供像・ 重点課題 | 評価項目 | 職員の評価 (1学期との比較) | 評価結果と2学期の改善方策 |
|------------------------|------------------------------|--------------------|----------------------------------------|
| 思いやりの ある情操豊 かな子供 | 1 元気な挨拶・会釈の指導 | 2.8 (+0.2) | ・改善されているものの、これからも教師が率先して声かけをしていく。 |
| | 2 自尊感情・自己有用感を育てる学級づくり | 3.1 (+0.3) | ・使ってはいけない言葉についての指導も行っていく。 |
| | 3 朝読書・図書室利用の推進による心の安定 | 2.9 (-0.2) | ・行事等で本を読む時間の確保が難しかった。3学期は時間設定をしていきたい。 |
| | 4 「揃える」指導の工夫・徹底(スリッパ・机・いす) | 2.9 (+0.4) | ・教師だけでなく、児童の意識も変わってきつつある。継続していきたい。 |
| 自ら考え共 に学ぶ子供 | 5 主体的・対話的で深い学び | 2.9 (±0.0) | ・他の先生の実践等を知り、自分の授業にも取り入れていく。 |
| | 6 ラスト10分のまとめ・習熟の時間の確保・確実な見届け | 2.9 (+0.1) | ・その時間で必要最低限身につけさせることをしっかりもって授業に臨む。 |
| | 7 授業と連動した家庭学習の充実 | 3.2 (-0.1) | ・必要に応じて保護者と連携をとり、改善を図っていく。 |
| | 8 学習の準備等の生活習慣の確立 | 3.2 (+0.2) | ・給食時間のマスクを忘れていた児童が多いので、指導していく。 |
| 進んで最後 までやり抜 く子供 | 9 教科体育や自主的な体力づくり | 3.0 (±0.0) | ・チャレンジかごしまへの取組など、目標をもって取り組ませていく。 |
| | 10 ルールやマナーを守った安全な登下校の指導の徹底 | 3.1 (+0.3) | ・給食時間等に放送で呼びかけてきた。今後も継続していきたい。 |
| | 11 むし歯治療率85%の推進 | 3.1 (±0.0) | ・保護者への啓発はもちろん、保健の学習でも習っているので関連付けて指導する。 |

3 3学期に向けての取組

- あいさつやスリッパ・靴揃えに関しては、教児共に少しずつ意識の改善が見られてきた。このまま継続していきたい。
- 家庭学習への取組がよくなかったため、内容や量などを見直すとともに、必要に応じて保護者と連携を取り合うなどしていきたい。
- 読書の時間を確保しながら、本に触れ合う機会を増やしていきたい。
- 学年のしめくくりの学期になるので、成長した自分を自覚できるような教育活動を行ってきたい。